

集める、調べる、伝える——
北海道博物館による資料収集活動・研究成果の一部を公開！

アイヌ語研究者・知里真志保ゆかりの資料

北海道内の歴史的建造物の精巧な模型

戦中から戦後の北海道のくらしの記録調査

奥尻ってどんな島？ 複数分野による共同研究

第 25 回企画テーマ展

新着資料・研究成果展

2025.10.18(土) ▶ 11.30(日)

入場
無料

時間 9:30-16:30 ※入場は 16:00 まで

会場 北海道博物館 2階 特別展示室

休館日 月曜日(11月3日、11月24日は開館)
11月4日(火)、11月25日(火)

主催 北海道博物館
TEL 011-898-0466 FAX 011-898-2657
北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2
<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>



10th
Anniversary
森のちやれんが
北海道博物館
開館 10 周年！

北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

資料収集や調査研究は、博物館活動の中でも重要な取り組みです。

今回の展示では、北海道博物館が積み重ねてきた、そうした活動の成果の一部を紹介します。ご寄贈いただいた資料や、複数の学芸員・外部機関が協働して実施した研究プロジェクトの成果など、4つの内容を組み合わせることで、いつもとは一味違った展示となっています。

北海道博物館の学芸員による取り組みを、この機会にぜひ覗いてみてください！

展示内容

アイヌ語研究者・知里真志保ゆかりの資料

アイヌ語調査の記録や、たくさんの書簡、丹念な新聞の切り抜き……北海道博物館が寄贈を受けて整理を進めてきた知里真志保ゆかりの資料を紹介します。



知里真志保
(登別にて)



アイヌ語の調査を
記録したノート



旭川のアイヌの
人びとからの祝電



旧三戸部家住宅
(伊達市)



旧日本郵船株式会社小樽支店
(小樽市)

北海道内の歴史的建造物の精巧な模型

北海道内に残るさまざまな歴史的建造物。2015年に一括して収集したそれらを形どった建築模型から、未公開の資料を公開します。

戦中から戦後の北海道のくらしの記録調査

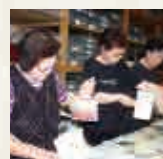
第二次世界大戦から高度経済成長期にかけて、これまであまり記録されてこなかった北海道民の生活を調査した成果を公開します。 ※関連イベントを開催します。



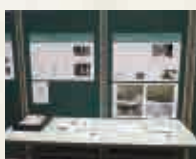
センチュリーロイヤル
ホテルの関係資料



閉業する明珍鉄工所
の記録調査



地域と協働した
記録調査



奥尻島民に向けた
研究成果展



奥尻島に生息する
動物の生態調査



奥尻島で採集した
ビカリアの化石

奥尻ってどんな島？複数分野による共同研究

哺乳類や貝類、建築、民俗、アイヌ文化、博物館資科学等を専門とする職員が行った奥尻島での研究成果を報告します。

関連イベント

ミュージアムカレッジ「北海道のリンゴ栽培の歴史」

日時：11月8日(土) 13:30-15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名

講師：山際 秀紀(当館学芸員)

イベントの詳細はウェブサイトでご確認ください。



イベントページ

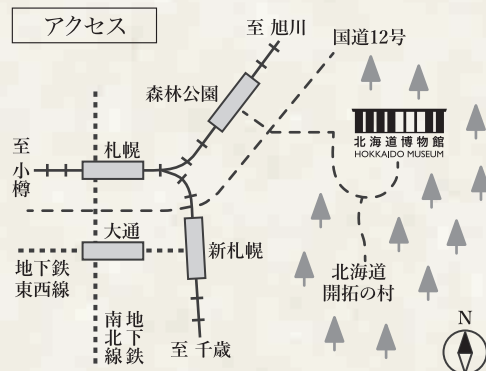
行事の参加申込

① ウェブサイトの「イベント」ページにアクセス

② 申し込みフォームから必要事項を入力して送信ください。

※開催の1か月前から受付開始(先着)

※お電話でのお申し込みは、011-898-0500 にて
(受付時間 9:30-17:00)



バス 新札幌駅から バスターミナルのりば⑩ジェイ・アール
北海道バス新22「開拓の村」行き「北海道博物館」下車
森林公園駅から 東口のりば 上記のバスに乗車
徒歩 森林公園駅から20～25分 お車 駐車場あり(無料)